

更に進化した「居心地の良さ」

ミックスボックスはシンクやシャワーなどの装備を持たないライトな軽キャンピングカー。道の駅やサービスエリア、ご当地グルメ、日帰り温泉など、日本ならではの充実したスポットを利用しながら手軽に車中泊の旅を楽しむというスタイルです。その度ミックスボックスは、実際に車中泊を重ねていく中で出たアイデアを取り入れ「居心地の良さ」を更に高めたバージョン2へと進化しました。上質な空間と充実の装備を小さなクルマに凝縮し、ドライバーの満足感と安心感がさらに向上したミックスボックスバージョン2は、まさに「ミニマム・クルーザー」。思い立ったらいつでも自由なクルマ旅が楽しめます。

もちろん平日は4人乗り軽自動車として使いやすいというのもミックスボックスの大きな魅力。また4人乗車時もラゲージスペースは広々、そしてフラット。車中泊シーンだけでなく、普段使いの事もしっかりと考えて作りました。ミックスボックス・バージョン2は、色々な生活シーンで幅広く使えて、一人でもみんなでも楽しめる。そんな素敵なクルマに仕上がりました。



オンもオフも両方楽しめる。ミックスボックスはそんな自由なクルマ。さあ、どんな遊びをしよう？その答えはこのクルマの中にきっとあります。



ミックスボックスは、あえて頭上部分に収納を設けず、頭をぶつけにくい広い空間設計にしています。またベッドフロアは低床設計としつつも、深さ約8センチという最低限の床下収納スペースを確保しました。なぜ空間の広さを重視するのか？答えはシンプルです。

実際の車中泊シーンでは、着替えなど車内で動かななくてはならないシーンがあります。そのような時、動きやすさは使いやすさと快適さに直結する。これが実際に車中泊を重ねてみて感じた事でした。空間に限りのある軽キャンピングカーで快適に過ごすには？という事を追求したら、収納性よりも空間の広さが大事だという答えに行き着いたのです。

室内高は身長170cmの人が車内で正座をしても、天井に頭が当たらない高さ確保しました。また空間だけでなく、どれだけ快適なクルマ旅を楽しむことができるか？という点にも拘りました。

ナビゲーションや9インチモニター、ETCを標準装備。また車中泊時に便利なサブバッテリーシステムや、正弦波インバーター（300W）カーテンなど、クルマ旅に便利なアイテムも標準装備です。これにより車内でノートパソコンなどの電化製品も使用できます。さらにロングドライブの疲れを軽減するクルーズコントロールもオプションをご用意しました。



開発者より：ミックスボックスは ●サービスエリアや道の駅などを拠点にしながらくるま旅を楽しむ。 ●食事は旅先のご当地グルメなどを楽しむ。 ●快適なドライブを楽しむための装備も充実している。 ●平日は4人乗り軽自動車として普通に使える。このようなくるま旅のスタイルをお考えの方におすすめ出来るクルマです。そんな旅のスタイルに合う理想の軽キャンを作りたい。そのコンセプトに「上質なインテリア」をプラスし、1台ずつハンドメイドで丁寧に仕立てていく。ミックスボックスは、アルファセンスコンプリートの勝又が何度も車中泊を重ね、机上論ではない「本当に使い易いライトな軽キャンとは？」を追い続けながら製作しております。所有する喜びを感じられるクルマへ。ミックスボックスはこれからも日々進化し続けます。